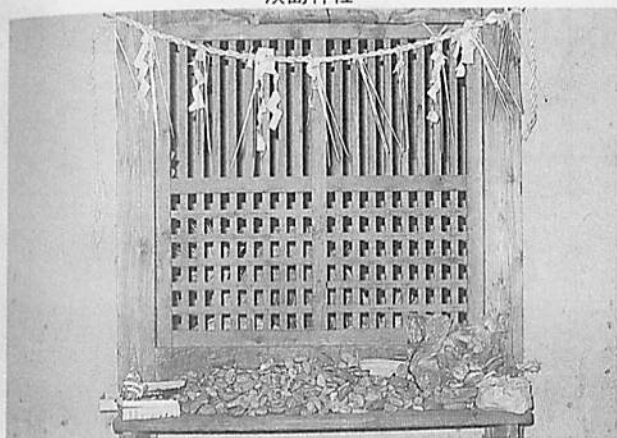




淡島神社



大日様



こづきの地蔵様

流行伝・流行神

小倉南区長行東のドルメンの近くに祀られている四体の虚空蔵菩薩は、咳や咽喉の痛みを和らげてくれるという信仰があり、米や麦の粉を持参してお参りに来る人が多く、仏様に塗り付けるので、いつも粉にまみれており、「粉びきの地蔵様」とか「粉仏さま」と呼ばれている。田川市常磐町の「こづきの地蔵様」も同じく咳や咽喉の治癒祈願に白い粉を持って参る。また「こづき」は「子好き」に通じると言って、子供の病氣治癒祈願に参ることもある。このように諸病の治癒祈願に霊験があると信じられ、報賽物をもってお参りに行く、いわゆる流行伝・流行神の信仰は各地に見られる。祈願の対象となっている病氣は、咳、咽喉の痛み、子供の夜泣き・ひきつけ、いぼ・白なまず（疥癬）・吹出物から疱疹までの皮膚病、首から上の病氣と言われる目・耳の病氣、腰から下の病氣と言われる婦人病、それに乳貰いなどが主なものである。

小倉南区石原町の大応寺境内の地蔵堂に祀られている地蔵様は「お乳の地蔵さん」と呼ばれ、乳の出ない人が米や供物をもって参り、供えた米の半分を持ち帰り、お粥にして食べていた。疱疹神には山王権現の神使である猿にちなみ、「くくり猿」の縫いぐるみを持って参る。採銅所の現人神社もその対象となっている。

甘木市秋月の淡島様は子供の夜泣きが止まないときに、祠のそばの「夜泣きの松」の皮をはいで飲ませるといいという。上秋月の淡島様は婦人病の治癒を願う人が、毛髪や布切れを持ってお参りに行く。三輪町の高野神社境内の大日様はイボ神様といわれ、小石を持って参り、供えてある小石でイボをこすると治るといわれ、お堂の前にたくさん的小石が供えられている。

二 神楽と獅子舞

春日神社の岩戸神楽

田川市宮尾町春日神社の岩戸神楽は、その起源については必ずしも明らかでないが、神社に残る断片的な記録を辿れば、近世初期まで遡ることができるようである。神楽は江戸期までは神職にしか舞うことが許されなかったために、明治初期の神職世襲制の廃止にともない断絶をみたところが多いが、廃絶を惜しんだ氏子の中で新たに神楽座を結成し、神職の指導を受けて復活継承したところだけが



かりがね納め



春日神社の岩戸神楽



奈良の盆踊り (田川市教育委員会提供)



位登の獅子舞

残っている。春日神社の神楽座もその一つで、復活の時期は明らかでないが、現在継承されているものは、戦時中に一時中断されていたものを昭和四五年（一九七〇）に新たに復活させたものという。現在は五月第三土・日曜の神幸祭と、七月下旬の夏越祭り、一〇月末日の神待ちの日に奉納されており、そのほか田川市郡・京都郡・行橋市などの神社の祭礼に招かれて奉納している。現行神楽の演目は、昭和八年（一九三三）に当時の神楽座の人々が旧来の口伝をもとに、三三番の演目にまとめたという「御神楽の栞」によっているが、そのうちの約二〇番が継承されている。神楽には直面の採物神楽と、着面の演劇神楽とがあるが、採物神楽は御幣・鈴・櫛・扇・矛・神饌米・太刀・弓矢などを持って、斎場を払い、神を迎えて供応をするという意味が込められている。着面の演劇神楽は、観客に見せることを意識した神話劇の神楽で、恐らく江戸時代の国学勃興期に神道思想鼓吹のために加わったものと思われる。注目されるのは、春日神社の神楽に、直方多賀神社の大祝青山敏文が宝永元年（一七〇四）にまとめた「御神楽本末」が用いられていることで、豊前神楽と筑前神楽が融合しているという点に、江戸時代から遠賀川文化圏が形成されていたという興味ある現象をみる事ができる。そうした意味から、この神楽は福岡県無形民俗文化財の指定を受けている。

田川市の獅子舞

現在田川市には上伊田西区と位登八幡宮、猪膝白鳥神社のほか、弓削田・見立・岩屋にも獅子舞が伝承されている。上伊田西区の獅子舞はもとは猫迫の獅子舞と呼ばれていたが、町名改正で稲荷町の獅子舞からさらに現在の名称となっている。伊田風治八幡神社の川渡り神幸祭に奉納されているもので、二人立ち、雌雄二頭の獅子舞で、伎楽系統の舞を主体とし、笛・太鼓の囃子にあわせて、あるいは優雅に、あるいは激しい動きを伴った舞を繰り広げる。舞は「曲」と「舞」の二通りに分かれているが、嘉穂郡大分八幡宮や綱分八幡宮で舞われているデハ・ナカノキリ・キリ（序・破・急）の三段階を基本形としたものではなかったかと思われる。この獅子舞の特色は、四〇人近い子供の楽打ちが、華やかな衣装でバチを叩きながら獅子の周りを回ること、獅子の所作と相俟って独特の雰囲気盛り上げる。この伎楽系統の獅子舞に子供の楽打ちが伴っているのは、猪膝白鳥神社の獅子舞と、夏吉岩屋須佐神社の獅子舞にも見られ、それぞれに多少の違

福岡県行政資料	
分類番号 J H	所属コード 2114107
登録年度 15	登録番号 14

福岡県文化財調査報告書 第一九五集	
秋月街道	
平成十六年三月三十一日	
発行／福岡県教育委員会	
福岡市博多区東公園七番七号	
印刷／文化印刷株式会社	
北九州市小倉北区	
井堀三丁目一八番一六号	